

気仙沼市へ来て、早や1カ月

130309

上 田 勉

宮城県の任期付派遣職員として、気仙沼市へ赴任をして、早や1ヶ月が過ぎました。温かく送り出してくれた皆様に、心からお礼を述べさせていただきます。

所属は、水産課漁港漁場係です。市内には31か所の小さな漁港があります。私の仕事は、漁港の災害復旧工事や防潮堤の建設などです。

仕事では役に立たないので、東京へ帰されるのではないかと、不安が一杯でこちらに来ましたが、何とか居られそうです。

現在、仮設住宅に住んでいます。自治会の役員の方達と、懇談する機会がありました。自己紹介で、「私は妻を無くしました」と言うことを聞いて、被災者の人達の思いに少しですが、触れることが出来ました。被災者の多くの人達は、全国の人達からの支援に感謝をして、励まされて日々の生活をいいます。

三陸の漁港は、3・11で軒並み大きな被害を受けました。漁師さん達の多くは、身内の方が無くなったり、家が壊されたり、漁船が流されたりと、三重の苦難を経験しました。今は、仮設住宅から、車で漁場に通っています。(背広は着ていません)

少子高齢化や過疎化が進んでいた三陸地方で、元通りに復活をするには、多くの問題を抱えています。新聞で、石巻市の仮設住宅の被災者の人に対して、「仮設住宅からどこへ引っ越すのか」というアンケート調査が載っていました。それによると、(仕事のために)他市へ行こうとしている人が約20%、復興公営住宅を希望している人が約40%です。残りは、市内で家を建てようとしている人で約40%です。つまり、40%の人達しか、高台への集団移転を希望していない、ということなのです。

三陸の水産業も、漁師の高齢化、後継者難や船の老朽化等によって、将来性があるとは言えません。また、日本人1人当りの年間の水産物の消費量も、平成13年から22年にかけて約4分の3に落ちています。(飲んでばかりいないで、もっと魚を食べよう！)

「海といきる！」気仙沼市は、住民よりも魚を第一に考えているという話もあります。皆さん、是非気仙沼へ来て下さい。被災地を案内します。お待ちしております。

【気仙沼へのアクセス】

- *東北新幹線で、一ノ関駅で乗り換えて、JR大船渡線 or 高速バスで約1時間20分
- *東北自動車道で、一ノ関インターで降りて、国道284号線で約1時間20分

【連絡先】

住所：〒988-0238 宮城県気仙沼市長磯中原125 階上(はしかみ) 中学校住宅16-5

携帯：090-5300-4664

PCアドレス：p-mia087@nifty.com